

5月定例記者会見要旨

龍ヶ崎市自慢の田園風景に水が満ちて、ほぼ田植えも終わり、早苗が初夏の風にそよぐ、二十四節気の「小満」を迎えています。今年はゴールデンウィーク前後に、各地で夏日を記録するような暑い日や、山で雪が降る冬のような寒さに逆戻りしたりと、ジェットコースターのように寒暖差が激しく、私も少し声が変わりますが、季節外れの風邪を引かれている方も多いようです。

萩原朔太郎は作品の中で「新緑と薫風」の季節を、「心を豊かに、気高くしてくれる」と書いていますが、一抹の寂しさを覚えながら名残を惜しんでいると、梅雨の季節が迫ってまいります。農業にとっては「恵みの雨」ですが、体調もどんよりしがちで、その重い空気を吹き晴らすような皆様のご活躍を期待しています。

6月には、7月29日に行われる当市の夏の一大イベント「撞舞」に向けての練習が始まります。練習会場は例年同様、市役所南側駐車場で、今年から更生保護女性会などの皆さんお手植えの、市の花ききょうが見事に花開き、会場を飾ってくれています。期日は6月3日から7月22日までの毎週日曜日、午後6時頃からで、初日には撞柱頂上の「さんだらぼっち」と呼ばれる円座作りなど、健柱の様子も間近に見られ、当市のマスコットキャラクター「まいりゅう」も現場に駆けつけるとのことです。

「撞舞」は、当市が誇る国選択・県指定無形民俗文化財で、事前に練習の様子をご覧いただくと、演技の流れや山場などが分かり、本番の演技をよりいっそう楽しめると思いますので、この機会にぜひご覧いただき、舞男に温かいご声援をお願いいたします。

ここで、うれしいスポーツの話題をひとつご紹介させていただきます。

記者会見ではすでにおなじみとなりましたが、本市はもちろん日本が誇るプロフリークライマー、東京オリンピックでの活躍が有力視されている野口

啓代さんが、5月13日中国で行われたワールドカップ・ボルダリング第4戦で、第3戦に続き、連続優勝を果たしました。

2016年の6月以来、ワールドカップでの優勝から遠ざかっていた野口さんですが、今期は優勝2回を含む4戦連続の表彰台と、絶好調です。今回でワールドカップにおける優勝は通算20回目となり、ボルダリングの世界ランキングも1位で、年間チャンピオンも射程に入ってきました。

5月18日には、ご本人が優勝報告に市長室を訪問してくださり、2年後の東京オリンピックや、今年6月のワールドカップ八王子大会に向けた熱い思いもお聞きしたところです。茨城県は選手層も厚いとのことで、国体も楽しみですが、2年後のオリンピックを目標に、ピークを高めていく意気込みも伝わってまいりましたので、今後のさらなるご活躍を期待しています。

それでは、本日の情報提供を始めさせていただきます。

はじめに、「議場コンサート」の情報です。これは、市民の皆さんに議場を身近に感じていただき、気軽に議場へ足を運んでいただくことを目的に、本市市議会が開催するもので、いよいよ実現の運びとなりました。

日時は、6月5日の12時30分から30分程度で、議場という空間と雰囲気の中ですが、親しみやすく、情緒豊かな美しい響きのハーモニカ演奏を楽しんでいただけることとなりました。

市議会では、これまでも「開かれた議会」を目指す取り組みの一環として、平成29年11月には中学生による「たつのこプロジェクト」を、平成30年3月には議員インターンシップ修了後の学生による「インターンシップ活動報告会」を、市議会休会中に開催しましたが、市議会定例会にあわせての取り組みは今回の「議場コンサート」が初めてとなります。

議会コンサート終了後の13時30分からは、同議場において、市議会定例会の本会議が開会します。コンサートの演奏とあわせて、本会議の雰囲気も味わっていただく好機でもあり、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

続きまして、「クリーンプラザ・龍」工場見学についての情報です。

これは、龍ヶ崎市民環境会議 生活環境部会が、環境学習の一環として企画・開催するもので、市のごみを処理する「クリーンプラザ・龍」を大人の皆さんに見学してもらうものです。

同施設の見学につきましては、今まで小学生や個別の希望者を対象に行っていたまいりましたが、近年、大人の社会科見学や工場見学が人気となっていることもあり、今回は大人向けの工場見学として企画し、参加者を募集いたします。

期日は6月13日で、当日は大規模設備更新もほぼ終了した施設の見学のほか、広域の塵芥処理組合職員による施設の概要説明やビデオ上映、質疑応答などを予定しております。5月25日から電話にて申込受付をいたしますので、多くの市民の皆様のご応募をお待ちしております。

続きまして、6月16日に行われます龍ヶ崎市防災士連絡会の「防災士研修会」についての情報です。

同連絡会は、当時、防災士有資格者が茨城県内最多となっていた本市において、防災士同士の交流や勉強会、地域の防災活動への参加促進などを目的に今年1月設立されたもので、研修会開催は、同連絡会の創設以来初めての事業となります。

内容といたしましては、防災・減災能力向上の為の勉強会というだけでなく、「市内の自主防災組織や地域コミュニティ協議会の防災活動の現状を、一定の知識・技能を備えた防災士の目線で評価し、地域の防災活動に対する提案づくりを行う」という、行政では踏込むことが難しい領域での研修となっているとのことです。

本日は、ご多忙の折、同連絡会の深澤会長にお越しいただいておりますので、後ほど深澤会長から直接、研修会の概要についてご説明をいただきます。

以上で、本日の情報提供を終わりとさせていただきます。

なお、詳細につきましては、このあと担当から説明させていただきます。